

学校教育目標	豊かな心をもち、自己の能力(よさ)を最大限に発揮できる、心身共に健全な子どもの育成
目指す学校像	確かな学力をつける学校 潤いのある楽しい学校 地域に誇れる、開かれた学校 安全・安心で、快適な学校
重点目標	1 カリキュラム・マネジメントの充実と共に教育の質の向上を図り、教育DXを有効活用し『確かな学力』をはぐくむ 2 よりよく生きることの基盤となる道徳教育を要とした、生徒指導・特別活動等の充実を図る 3 SSN、コミュニティ・スクールを核とし、地域とともにある開かれた学校づくりを目指す 4 安全・安心な教育活動の推進と環境整備推進。ハード面にとどまらずソフト面の充実を図る 5 教師力の向上と機動力がありチームとして教育活動に取り組む教職員組織をつくる

※重点目標は5つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学びの質の向上に関する取組
 心のサポートに関する取組
 地域とともにある学校づくりに関する取組
 教育環境の整備に関する取組
 教職員のキャリア形成に関する取組

学校自己評価							学校運営協議会による評価		
年度目標					年度評価		実施日 令和 年 月 日		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等	
1	<現状> ○学力学習状況調査では、学年による違いはあるが、平均と比べると良好とはいえない。 ○学習状況調査における「国語・算数の勉強は好きだ」の項目において、肯定的な回答をした児童は、全国平均同程度、市平均は下回っている ○授業中に学習にしっかりと前向きに取り組む児童は多い。 <課題> ○確かな学力をはぐくむための、基礎基本を確実に定着することと、学びに向かう力を育てる ○端末を効果的に活用した授業、主体的対話的で深い学びの授業などよき学びの授業法を増やす。	・『確かな学力』をはぐくむための、学習の基礎基本の確実な定着 ・一人一台端末を基盤とした「個別最適な学び」「協働的な学習」への挑戦	・個の学びが充実し、学びに向かう力をつけるため、基礎基本の確実な定着を図る。【読み・書き・伝える・計算等】 ・市アクティブ・ラーニング型授業とともに、岩槻小スタンダードを見直し、より実効性を高める。 ・コーチングの視点を導入した「教える」と「主体的に学ぶ」授業を融合し効果的な授業を展開する。 ・教育DXを推進し、一人一台端末を効果的・積極的に授業に取り入れる。 ・「スクールツェホード」・Microsoft Teams を効果的に活用した指導等の実施 ・カリキュラムマネジメントの充実	・学校評価教員アンケートにおいて、関連する項目の肯定的な回答の割合が90%以上となったか。 ・学びの指標、学習状況調査等において、学習への意欲、学習への取組関連項目において肯定的な回答8割を目指す。 ・学校評価教員アンケートにおいて、「主体的に学ぶ姿がみられるようになってきた」と回答する教員の割合が95%以上となったか。 ・調査結果の分析結果や学方向上支援研修を踏まえ、授業改善の視点、手立てを学年ごとに設定することができたか。 ・一人一台端末を効果的に活用した学びが行われたか。(学校評価90%)					
2	<現状> ○学習状況調査における「学校に行くのが楽しい」の質問に肯定的回答児童が8割を切る学年もある。登校をしぶる児童もいる。 <課題> ○多様性を認め、自分も周りの人も大切にす資質を身に付けさせるための手立てを、学校組織として構築していく。 ○すべての児童、そして保護者、地域の方々が学校は心理的安全性があり居心地がよく、よりよき学校をつくっていくという当事者意識を構築していく必要がある。	・安心できる場・居場所と生活の充実 ・道徳教育の充実 ・教育相談の充実 ・学習スペースの確保 ・何事にも教職員組織としての対応	・徹底した児童理解と児童観察に基づく個に応じた教育に努める。 ・よりよく生きることの基盤となる道徳性を養う道徳教育の充実を努める。 ・児童が安心して登校できる学年・学級経営を推進する。【「失敗してもOK」の雰囲気醸成】 ・「心と生活のアンケート」・スクールツェホードの実施と結果の活用を図り、心のサポート、いじめ防止、不登校対策を推進する。 ・いじめ、不登校などは当事者教職員だけでなく、組織として対応し改善を目指す。	・学校評価教員アンケートにおいて、関連する項目の肯定的な回答の割合が90%以上となったか。 ・学校評価児童・保護者アンケートにおいて、関連する項目の肯定的な回答の割合が80%以上となったか。 ・学校評価アンケートの「学校は安心できる場所」関連項目が肯定的回答割合が85%以上となったか。					
3	<現状> ○合同学校運営協議会では、目指す児童像についての熟議や考察を重ね、地域全体で児童生徒をはぐくんでいくことを共有した。 <課題> ○教職員、家庭、地域等で地域と共にある学校をつくるため、学校運営協議会の認知度をあげる。 ○日頃から教育活動を見ていただく開かれた学校づくりをすすめる。 ○学校の教育方針を保護者、地域に伝えるたり対話したりする等の方策を考え、学校に係るすべての方々が当事者意識をもてるようにする。	・SSN・学校運営協議会(コミュニティスクール)の充実 ・情報の共有化 ・学校教育への保護者や地域の方の参画 ・学校評価の充実	・SSNと学校運営協議会(コミュニティスクール)の推進と情報発信に努める。 ・開かれた学校づくりを推進する。【学校教育活動公開、授業公開等、PTAとの連携など】 ・教育活動の情報発信による信頼・安心・安全の獲得に努める。 ・家庭、地域等との「きょういく」を推進 ・学校評価の実施による不断のよりよき学校づくりに努める。	・学校運営協議会の保護者認知度が70%以上となったか。 ・学校運営協議会で熟議された結果に基づいた地域学校協働活動の共有及び活動内容の改善について議論するために、学校運営協議会の年3回開催に加え、SSN協議会を年2回開催する。 ・学校評価アンケート(保護者等)で保護者地域等とともに教育をすすめるという内容項目、肯定的回答が85%以上となったか。					
4	<現状> ○校舎の老朽化が進んでいる。 ○以前より掲示が変わっていないものが多い ○教育活動が安心して行えるような予算執行を連携して行っている。 (課題) ○リフレッシュ・改築工事を鑑みた教育活動の今後考えていく必要がある。(計画的な備品整理等) ○児童の興味関心をアップデートしていく校舎内の掲示の更新。	・きれいな学校 ※ハード面にとどまらずソフト面の充実を図る ・常に安全面を考慮した施設設備の確認	・学びやすい教育環境の提供を図る。 ・美しい教育環境づくりに努める。【清掃・掲示・栽培緑化等】 ・安心して教職員が教育活動が行えるよう、教職員との対話に努めニーズを把握した予算執行を行う。 ・施設設備の計画的な整備、修繕と安全点検の徹底に努める ・校舎改築、リフレッシュ工事を見据えながら改善要望をする。	・学校改善アンケート(教員・保護者)において、関連する項目の肯定的な回答の割合が90%以上となったか。 ・校舎内の掲示が定期的に更新され、児童の学びの意欲を高めたり、情報の収集となる掲示となったか。 ・適切な予算執行が行われたか。 ・毎月の施設設備の安全点検が確実に行われたか。また、結果に応じた修繕対応ができたか。					
5	<現状> ○教職員の年齢構成はバランスよいが、やや経験の浅い教員が多い。経験値が多岐にわたる。 ○教科担任制実施により、担当教科についてより深い教材研究を行うことができています。 <課題> ○令和の日本型学校教育の理解を深め、ICT活用の授業や「個別最適な学び」「協働的な学び」を中心にした授業づくりを勧めていく。 ○誰もが学び続けることができる職場環境づくりが求められる。	・自らの学びによる、授業力・指導力の向上 ・組織の一実践者として、共に高め合う意識の醸成 ・働きやすい、働きがいのある職場構築	・学校経営方針を基本に、全教職員がチームとして全教育活動の展開を図る。 ・授業や子どもの事実を語る職員室室文化の醸成とOJTの実践に努める。【教師間の学び合い・切磋琢磨】 ・学校課題研修の充実を努める。【個人課題を設定した自ら学ぶ研修の取組】 ・業務改善を意識した仕事への取組 → スクラップ&ビルド ICT活用 見える化の実現 会議の効率化(時間、内容、進め方等) 仕事のシェア チーム(組織)としての対応 等	・全ての教員が「学びの指標」の実現を目指し、日常的にICTを活用する状況になったか。 ・全ての教員が、自らの目標に向けて授業改善・研修に取り組み、結果として90%以上の教員が目標達成を実感することができたか。 ・タイムマネジメントを意識し業務に当たり、やりがいや満足感をもちながらも時間外在校時間の縮減に努めたか。					